

# 女性議会の開催を



原口博光議員

女性議会の問題は、最近全国の自治体で開催され大きな話題となつていゝる。とりわけ女性の意見をあらゆる角度から聞くことができ、今後の行政に十分に生かすことができたと称賛の声も聞かれる。

私は、平成八年三月の定例議会で、婦人層の模擬議会を開催してはどうかと、当時の町長に質問した。質問の内容は、議会傍聴に来られた婦人の方が、日頃、地方自治に全く無関心で、特に、議会の運営など知るよしもなかった、などの意見が

寄せられたので、議会の意識の高揚をはかる意味から、婦人層への模擬議会の開催を質問した。それに対する答弁は、大崎町女性の広場推進会議や、町政座談会への婦人の出席があつて、その会の中で、意見を聞きながら意識の高揚を図りたい、とのことであつた。これは、この機会を生かしながら、町議会・町政に対し理解させることに力点を置いたために、先の答弁が返つてきたのではないかと思われ。時代は移り変わり、町長も変わったので、視点を変え、多くの女性の色々持っている意見などを聞く意味で、緊張ある所での女性議会の開催を考えてみてはどうか。

## 要望があれば

### 町長

現在、男女が生き生きと暮らすことのできる男女共同参画社会の実現や、今後ますます重大な役割を担う女性たちが、行政や法制に対し、関心や理解を深めることは、大変重要な意義があると思つている。幸いにも、本町では大崎町地域女性連絡協議会など各種女性団体があり、色々な活動がなされている。このような女性団体が開催している会議への出席、また、毎年開催される各種団体の代表などで組織している大崎町女性の広場推進会議等の、機会を活かしながら教育、福祉、環境問題など諸問題について幅

広く意見を聞き、町政へ反映するよう努めている。女性議会というあらたまつた場では人数も限られ、広く意見を聞くという意

味では本音が出せないのではないかと、懸念を持っている。

今後、関係団体からの要望があれば、開催する

ことはやぶさかではないので、各種団体の代表などで組織している大崎町地域女性連絡協議会等に提案していきたい。



大崎町地域女性のつどい